



月刊労千葉

02.10.6 No.3669

強制配転者の原職奪還! 自衛隊海外派兵阻止

(10月3~4日)
第19回定期大会
大成功勝ちとる
反転攻勢へ方針確立

長井答昌
委員会
中野括要
(要)

労働基準法三六条は、例外規定として労働者を保護すべき法律が、今やいかにこき使えるのかというように変化してしまっている。行政・司法両面の反動化により苛酷な条件下に置かれ、深刻な問題となつてているのだ。現在の要員配置が、時間外・超勤を前提になっている以上、安易に締結するわけにはいかない。

十一の運転区長名の連記で開始され

一〇月三日から開会された労働千葉第一九回定期大会は、二日目冒頭、来賓として労働千葉顧問弁護団・葉山弁護士、労働高崎連帯・和田山委員長、労働千葉○B会・松崎会長、

動労千葉家族会・佐藤会長よりあいさつを受けたのち、さらに大会に結集した争議団の方、一人一人から現状と決意の一貫が述べられた。

続いて、事業部の取り組み、法対報告、予算(案)提起ののち、二日目の質疑に入り、(1)直営売店の廃止提案に対し、支部として交流集会等全員の意思統一を図ってきた。

運転関係への原職復帰の道すじを拓くとともに、組合員の要望に添った交渉・闘いを開くべきだ。(総武)

(2)職場では訓練を、勤務時間の短い仕業にふりあてようとしているが、三六破棄中の訓練の取り扱いはどのようになるのか?

運転保安要員の削減に起因することだが、踏切遮断桿の保守取り扱いは二人以上でやることになっている。当局は駅員にやらせがいない。折れた状態で放置ということが長時間続くことになり問題がある。

踏切事故防止キャンペーンの新聞掲載費

又、現在駅では自動改札機の導入による要員削減によって手いっぱいの状態だ。この時期にこそ要員増を実現する必要がある。

PKO派兵という状況の中で、戦争反対の声をいろいろな方法でアッピールしていくべきだ。(総武)

100回定期大会

ノンストップ標準

用をカンパで賄おうと、当直にカンパ箱を置いている実態がある。問題のすりかえであるが対応を決めるべきだ。(木更津)

(3)PKOカンボジア派兵阻止の闘いは、戦争政策そのものとの闘いであり、侵略戦争下の労働運動を問うものだ。一〇・一三小牧現地闘争に全力で決起する。

「分割・民営化」强行後、旅客と貨物の格差はあらゆる面で広がっている。格差は正の闘いを強化すべきだ。

貨物「九〇〇〇人体制」などと言われているが基地の将来展望はどうか?(佐倉)

(4)三六破棄中という中で当局は、訓練を勤務前・勤務後に指定してきている。一勤務として扱うということならば、例えば、乗務前に指定した場合は、訓練の時間を出勤

(ウラヘツヅク)



全員の解雇撤回!

反合・運転保安確立! 反戦・反核を担う労働運動を!

時間としなければならないはずだ。しかし当局は、通常の出勤時間で勤務を確認しているので混乱が起きている。

又、特休を呼び出して乗務させることもあると言っている状況さえある。これは明らかに違法行為ではないのか?見解を出してもらいたい。(千葉転)

(5)、この一年間は、五・二八中労委「解決案」

六・二五一波スト公労法解雇公判・清算事

業団公判判決など解雇撤回の闘いの一つの節目であった。七名の勝利をさらに拡大する闘いを強化しなければならない。

退職前提の休職制度が西日本で導入されている。そうだが、東日本における動向について聞きたい。

営業への強制配転者の原職奪還へ向け、全力で闘いを組むべきだ。(銚子)

(6)、貨物「九〇〇〇人体制」「八〇〇〇人体制」などの先行に怒りが高まっている。

大会終了後開かれた 92冬季物資販売会議



JR体生誕祭

あらゆる戦術を駆使して反撃に立つべきだ。

コンテナ台車枠の亀裂・脱線事故は、貨車の老朽化・過積・スピードアップに原因がある。運転保安確立が最も求められている。

昇格基準や制服などの待遇改善へ向け、交渉の強化を図るべきだ。(新小岩)

(7)、三六破棄時の訓練指定は、月間積算として超勤になることには違いがない訳

で本来ならば違法ではないのか?(京葉)
以上のような熱気あふれる質疑が次々と展開され、時間を超過するほどであった。
質疑の最後に中野委員長の総括答弁(要旨別掲)を受けたのち、特別決議後、ストライキ権批准投票が行われ、100%で批准された。

強制配転者の原職奪還、PKO自衛隊海外派兵阻止の今秋反戦闘争へ組織の総力をあげて闘い抜こう!

第一回定期大会祝電・メッセージ

(敬称略・順不同)

東京労組交流センター

代表 三角忠

岩本正治

全国労組交流センター運営委員

佐藤芳夫

東京都議会議員 長谷川英憲

北富士忍草母の会

東京東部労働組合

中央執行委員長 天野克美

愛媛労働組合交流センター

電気通信産業労働組合執行委員長

国鉄西日本動力車労働組合

国鉄労働組合千葉地方本部

全国金属機械労働組合千葉地方本部

執行委員長 平岡誠

千葉県政治経済研究会

川鉄千葉労働組合

執行委員長 小林誠司

千葉県労働金庫本店営業部

動労西日本北陸支部

執行委員長 遠山平治

千葉県政治経済研究会

三多摩労働組合交流センター

執行委員長 栗田忠宏

安房地区労理事長 辻田実

全水道千葉県水道労働組合

青年部一同

安房地区労理事長 辻田実

中央執行委員長 半沢勝男

参議院議員 稲久八重子

安房地区労理事長 辻田実

スタンダード・バキューム

衆議院議員 大木正吾

安房地区労理事長 辻田実

石油自主労働組合

代表 西村綾子

安房地区労理事長 辻田実

婦人民主クラブ全国協議会

会長 市川副平

安房地区労理事長 辻田実

全日本山労働組合

衆議院議員 新村勝男

安房地区労理事長 辻田実

中央執行委員長 入江史勝

参議院議員 松本正一

安房地区労理事長 辻田実

交流部長 中西敏勝

衆議院議員 小川国彦

安房地区労理事長 辻田実

